

エコパーク通信

平成28年
3月号

協働・地域づくり発表会に参加しました（2月6日 静岡労政会館）

会場内で、各団体の皆さんと意見交換をしました。エコパークの活動を紹介すると共に参加者（県立大の学生、NPO法人等）の人達の体験談は非常に参考になり、これからの活動に生かすことが出来ると思いました。大変有意義な一日となりました。エコパークに関心を持った方々が、是非訪れたいと言う事で、今回良いPRの機会にもなりました。



会場の様子



入場者への説明



展示品

私が仲間とオランダ、ベルギー、フランスへと花視察に出かけたのは25年ほど前になるでしょうか。オランダのキューケンホフ公園の素晴らしさをエコパークに活かしたいと色々な花、苗、木を当パークに寄贈してきました。その中でハーデンベルギア、クフェア、ウツギ、イチジク等は見事な成長を遂げうれしい限りです。その後もドイツ、スイス等へ行きいろいろな植物に触れてきました。スイスとオーストリアの間にある小さな国リヒテンシュタイン公国で見た「スモークツリー（煙の木）」の姿は、今でも忘れられない景観の一つです。

また、カナダのバンクーバー島にあるブッチャートガーデンでは、日本庭園が造られており改めて日本の植物を見直した一時でした。高層ビルのホテルで夜景を見ながら、360度回るレストランのテーブルにはアルストロメリアの花が飾ってありました。この花をエコパークで増やしたいと思ったのは、ナイアガラの滝と共にカナダでの出会いがあり、感動したとの思いからです。

その他にも中国で見た花壇の作り方、或いはシンガポールの植物園もそれぞれの国の特徴が出ており、とても役立ちました。

多くの国を旅して少しでもエコパークに活かすことが出来ればと知人や友達を巻き込み、手を変え品を変え協力して今になりました。「エコパークは癒される」という訪れた人の話から、やっと何とかなってきたのかなと思っています。これからもずっと心していきたいと思ひます。

沢入 美登里



ポリガラ



モモ



ジンチョウゲ



ノースポール



フシヨウニシ



ヤブキハシ

御前崎エコクラブ会長 山本貴美枝